

第 9 回 北茨城市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	第 9 回 北茨城市地域公共交通会議
開催日時	平成 2 5 年 1 1 月 1 9 日（火）午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 3 0 分
開催場所	北茨城市役所 2 階庁議室
出席者	別紙 1 のとおり
会議の議題 および会議 の内容	<p>会議の成立について</p> <p>委員 1 8 人中、代理を含め 1 3 人が出席しているので、会議設置要綱の規定に基づき、本会議が成立したことを事務局より報告</p> <p>会長挨拶</p> <p>皆さん、大変お忙しいなかお集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今回で 9 回目の会議となりますが、たくさんの議論のなかでタクシー助成、市巡回バス等が政策化されていております。本日も活発なご意見を頂きたいと思っております。</p> <p>本日の内容としては、来年度より新市立総合病院が開院となるため、市民の足をどのようにするかということで事務局より案が提案されますのでご意見を賜ればありがたいと思っております。</p> <p>また、タクシー助成券の実施状況、高速バスの利用状況についても事務局より報告があります。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議事の方に移りたいと思っております。まず、議題 1 の市巡回バスの見直しについて事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>議題 1 市巡回バスの見直しについて</p> <p>昨年度より、市巡回バスを補完する目的でタクシー助成制度が開始された。利用者の多くはタクシー助成制度にシフトされ、市巡回バスの利用者は減少している。</p> <p>来年度、新市立病院開院に伴い市巡回バスは、効率的かつ効果的な運行が求められている。</p> <p>○高齢者に優しい巡回バスをコンセプトに見直す</p> <p>現在の運行ルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日によってルート、時間が異なっている→市民にとってわかりづらい ・利用者が少ない午後 6 時～ 8 時の間も運行→見直す必要がある <p>新ルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日、定時定路線で運行 ・高速道路より以西の地域に関しては、「フリー乗降区間」を設けて利便性の向上を図る ・夜の運行をなくし、午前 7 時～午後 5 時の利用者が多い時刻を運行 ・JR 線より東の地域については、バス停をなくす（主に平潟・大津・下桜井・足洗の地域）

	<ul style="list-style-type: none"> ・日立電鉄で運行しているルート→撤退することから中石岡を通るルートを運行する <p>○現在と新ルートの比較（ルート図で説明）</p> <p>現在のルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑なルートとなっている <p>新ルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士ヶ丘～大津港駅～新市立病院～磯原駅～大津港駅（新市立病院を経由するルート） ・残り3ルートについては、磯原駅を軸とし新市立病院へ乗り継ぐことができるルートとなっている <p>○運行する便数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士ヶ丘～新市立病院（磯原駅経由）～大津港駅 （病院へ行ける便：5便、病院から帰宅できる便：4便） ・磯原駅～華川～磯原駅 （病院へ行ける便：4便、病院から帰宅できる便：4便） ・磯原駅～重内～磯原駅 （病院へ行ける便：4便、病院から帰宅できる便：3便） ・石岡～中石岡～磯原駅、石岡～南中郷駅～磯原駅 （中石岡方面…病院へ行ける便：2便、病院から帰宅できる便：1便） （南中郷方面…病院へ行ける便：2便、病院から帰宅できる便：4便） <p>○巡回バス見直しをすることによって懸念されること</p> <p>懸念されること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで運行していた路線が廃止される→利用していた人が不便を感じる ・磯原駅から新市立病院行きへの乗り継ぎ→面倒 <p>対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券で補完するよう促す （廃止ルートから各駅までは2～3km程度→初乗り運賃以内で行ける） ・新市立病院から帰宅する利用者に対して、100円券を交付する <p>見直しの提案については以上になります。ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
議 事	<p>○委員</p> <p>平日、定時・定路線は非常にありがたい。</p> <p>磯原駅から新病院へのルートに関して、国道は通らず、新しい道路を運行するとすると周りに家が一軒もないところだと思うが、どのように考えているのか。</p> <p>また、運行ルートから削除する下桜井、足洗には市営住宅等があるが、利用者数はどの</p>

程度なのか。

○事務局

磯原駅から新病院への運行ルートに関しては、一度国道に出してしまうと時間がかかってしまうため、北部幹線道路から現行のバス停のある神岡上から神岡下までの旧道を通る予定でいる。

白浜団地の利用者に関しては、約300m歩いてバス停まで来られる範囲であるということから、ルートから削除する。

年間の1日平均の利用者数は、1.5人（白浜団地）、1.4人（下桜井）と少ない状況。

また、駅から約2kmということから、タクシー助成で補完できる距離でもあるため、今回のルートからは削除した。タクシー券所持者も88人いる。

○委員

わかりました。

○委員

白浜団地、下桜井も高齢化が進んでいる。タクシー助成券も便利ではあるが、市はこのままずっと続けていく予定でいるのか。

○事務局

当面、現行の体制で続けていくということで、市長から了解を得ている。

ますますバスの利用が減少していけば、不便に感じる人はタクシー券に移行していくのではないかと思います。

○委員

タクシー助成のニーズが高まっていったときに、際限なく交付していくのか。

○事務局

現在は、3千万円ほど助成費がかかっているが、どんどん膨れ上がるようであれば、対象者をこの会議の中で委員の方の意見を聴取して変えていかなければならない。

国の方でも、日本人の高齢者は何歳からなのかということが専門機関でも話し始まっている。何歳からという国の方針も出るかと思うため、それに合わせて年齢の引き上げなども考えていかなければならないと考えている。

○委員

新ルートは、新病院の開院に向けて病院を中心に運行するようだが、市役所にバスを利用してくるという人はいるか。

その統計はデータであるのか。

○事務局

市役所への利用者のデータは算出していない。

新病院から市役所に行くルートは確保している。磯原駅から市役所、そして新病院へ行くというルートがある。

○委員

市民に公表した場合に、市役所行きのルートも明確にしてほしい。

お年寄りの方は、病院帰りから本庁舎へ手続きに来るといった人も中にはいる。

○委員

高速道路から以西の地域については、フリー乗降区間を設けるとあるが停留所のないところでそのまま乗降できるのか。

○事務局

フリー区間の地域にもバス停は設けるが、その区間であれば手を上げる等の意思表示でバスに乗車することができる。

○委員

定時定路線とあるが、現在土曜日に病院は開院しているが、新病院になった場合はどうなるのか。

○議長

基本的に診療日は変えない予定でいるが、まだはっきりしていない。

○委員

新ルートは4路線あるが、どこの会社が運行するのか。

○事務局

今年度は、市内及び地域巡回バスと分かれており、2社に委託して運行している。

これからの見直しに際して、事務局としては4路線で1つの市内巡回バスと明示した方が利用者もわかりやすいのではないかと進めている。

現在は日立電鉄で3台、太陽タクシーで1台の運行となっている。

○委員

乗り合い事業の許可を持っていない業者が入札を落としたとすると、新規許可となるため4月からの運行にかなり時間がかかってしまうが大丈夫か。

○事務局

市内で運輸許可を得ている業者は、日立電鉄と太陽タクシーの2社のみということから、必然的に2社のどちらかになる。

○委員

新病院からの帰宅する人に対して、帰宅便の無料券を交付するということがあるが、どのような方法で考えているのか。

○事務局

乗り継ぎをする人は、5分程度待ち合わせの時間が出てくると予測される。

乗り継ぎなしの100円で帰宅できる人もなかには出てくると思われる。乗り継ぎをして帰宅する人は200円かかってしまう。その差をなくすためにも、事務局としては病院の診療を受けた方に対しては、100円の無料券を交付するというサービスを提供してもいいのではないかと考え、今回提案した。

○委員

乗合運賃の考え方として、特定の人に優遇するようなことはよくない。

そういうことであれば、他路線からの乗り継ぎ分は無料にすることにした方がいいと思われる。

○事務局

検討していきます。

○委員

運行時間を見てみると、通勤時間帯に運行しないようである。

一般的な通勤退勤時間にサラリーマンの方などは利用していないのか。

○事務局

全くいないということはないが、利用していたとしても2、3人程度である。

通勤退勤時間の駅の様子なども見ると、送迎している自家用車が多くみられるため、今回は運行時間に入れていない。

○議長

学生等の通学者はいないのか。

○事務局

市内の小中学生を対象にアンケートを実施した結果、明德小学校及び中郷第2小学校の児童が利用している。

	<p>その時間帯については、市の巡回バスで補完するようにしている。</p> <p>高校生、大学生等についての調査は行っていないが、駅の実態を見ると大半が自家用車での送迎である。</p> <p>高校生の帰宅時間帯も、午後7時から9時と分散化している。</p> <p>大変申し訳ない判断で、保護者の方をお願いするようなかたちにはなるかと思うが、今回の見直しのコンセプトは高齢者に優しい巡回バスで、日中市内にいる方にシフトさせていただきたいと考えたため、そのような時間設定となっている。</p> <p>○委員</p> <p>もし、突然の大雨や大雪などに見舞われた場合の、中高校生に対するタクシー券の交付などはできないものか。</p> <p>○事務局</p> <p>タクシー助成制度は国の補助制度などは使用しておらず、市の一般財源で行っている。</p> <p>限られた予算の中でできるだけ多くの方に利用させていただきたいが、現在のところは、市の交通機関でご了解いただければと考えている。</p> <p>○議長</p> <p>他に意見がなければ、本日いただいたご意見を基に修正を加えて、実現に向けて事務局は動いていただきたいと思います。</p> <p>それでは、その他の高速バス及びタクシー助成の実施報告を事務局の方からお願いいたします。</p>
<p>会議の議題 および会議 の内容</p>	<p>その他 高速バス、タクシー助成券の利用状況について</p> <p>高速バスは今年の4月から運行が開始され、いわきから北茨城インターを經由し東京駅まで向かうバスになっている。</p> <p>○高速バス利用者数、市営駐車場の利用者数及び収入額</p> <p>高速バスの利用者は4月に769人から8月には1,103人と右肩上がりで増加しており、市営駐車場も4月に581台から10月には749台と増加している。</p> <p>高速バス利用者に並行して、収入状況も4月には75,000円から10月には124,200円と増加している。</p> <p>○タクシー助成券の実施状況</p> <p>昨年度の交付者数は2,861名</p> <p>今年度については、申請者数が2,564名、交付者数は2,472名となっている(H25.11.1現在)。</p>

	<p>申請者数と交付者数で差がみられるのは、今年度より税金の滞納者を対象外としたためである。</p> <p>○タクシー助成券利用者数及び利用額</p> <p>昨年度の7月から制度が開始され、3,954名から翌年3月には6,262名と増加しており、今年度に関しても4月の4,293名から10月には5,458名と毎月増加している。</p> <p>また、今年度より助成金額が変更になり、600円の助成から500円の助成となった。</p> <p>利用者は、最低でも100円の自己負担が必ず発生する。</p> <p>利用額についても、昨年度7月の2,484,460円から翌年3月には3,929,740円と利用者数に並行して増加した。</p> <p>今年度は、4月の2,146,500円から10月には2,729,000円と増加しているが、市の負担額の減少と利用者の100円負担が、昨年度に比べ利用額が減少している要因と考えられる。</p> <p>報告は以上。</p>
議 事	<p>○議長</p> <p>高速バスについて、説明の補足をしますと上下便ともに毎日12本運行している。7月からは東京ディズニーリゾート行きの直行便が、上下便ともに毎日2便運行している。</p> <p>駐車料金については、土地代を駐車場収入で賄えるぐらいの収入を得ている。3日間で200円の利用料金を得ている。</p> <p>タクシー助成に関しては今年度より制度が変わり、利用者の100円負担が増えているが、利用者の声はどうか。</p> <p>○委員</p> <p>案内が周知徹底されているため、以前のように遊技場に行く利用者はほとんどみられなくなった。</p> <p>主に病院や買い物での利用が増加している。</p> <p>○議長</p> <p>委員の皆様からの意見を反映した成果と思われます。ご協力ありがとうございます。</p> <p>滞納者を対象外とすることもこの会議で決めていったことなのですが、窓口で滞納があるか確認したことで納税していくこともあったようで、納税の促進にも役立っているようである。</p> <p>他に質問、意見等はあるか。</p>

○委員

高速バスの市営駐車を4月から使用しているという声が、非常に多い。
駐車場は、1度入場すると200円徴収されるのか。

○事務局

30分間は無料となっている。

○委員

送迎待ちの車が非常に多く、駐車場を利用する時に入口がふさがれ、入れず声をかけて入場するという状況があった。

近隣の人が使用する生活道路にもなっていると思われるため、30分間は無料という周知ができるよう工夫してほしい。

○事務局

30分間無料ということがわからない方も多いかと思われるため、これから看板を建てる等、検討していきたい。

広報紙に載せる等のPR方法もとっていきたい。

○委員

大雨のときにずぶ濡れになるということがあったため、階段のところに屋根は付けられないか。

また、自動販売機の利用者が飲みほしたものをポイ捨てするといったことも見られるため、ごみ箱を設置できないか。

○事務局

ごみ箱の件に関しては、当初建設するときにネクスコの方とも協議した。

設置したことによって、生活廃棄物なども捨てられてしまうことも考えられる。

どこのバス停も置いていないと思われる。

現在、ごみは持ち帰っていただくということが浸透していていると思われるため、設置に関しては今のところ考えていない。

屋根に関しては、費用等がかかりますので、意見が多く不便であるといった声が多いようであれば検討していきたい。

○議長

タクシー助成に関して、家庭内で旦那さんが車を所持していることで、申請できない人がみられるが、どうにかならないか。

また、夜に痴呆のおばあさんが歩いており、警察に通報し来てもらったことがあった。
警察がバックの中身を確認したところ、タクシー券に写真が貼付されて住所が記載され

ていたことによって、おばあさんの所在が明らかになったということがあった。
身分証明にもなり、大変良いことだと思う。

○議長

タクシー券は、家族の中に車を所持している人がいても、使用する本人が運転免許証を返納すれば、申請できる。

○委員

了解した。

○委員

高速バス停留所にトイレの設置は考えられないか。

○事務局

バスのなかにトイレもあるため、設置は考えていない。

○議長

今後、そのような声が多くなっていくようであれば、検討していく必要がある。

利用者も増加すれば、駐車場の収入も上がっていくと思われるため、委員の皆様には市民へのPRもお願いしたい。

また、バス会社からは全体の利用率が悪くなっているなかで、北茨城の利用者は多いということで大変感謝されている。

北茨城のPRを東京でもできればと、バス会社の方から話しがあるといった状況。

○委員

高速バスに関して、防犯ビデオはあるのか。また、犯罪報告などはあるか

○事務局

料金徴収機器に向けて設置してある。

今のところ、犯罪の報告などはない。

○委員

犯罪などがおこったときに、ビデオを確認する手続き等はどのようにすればよいか。

○事務局

特に決めてはいない。

市の方に連絡いただければ、管理会社にお問い合わせできる。

○委員

保存期間はどの程度か。

○事務局

1ヶ月程度である。

○委員

タクシー助成について、警察の免許窓口にて目が見えなくなってしまったことや痴呆等で免許証を返納してくる人が増えている。

その時に、運転経歴証明書を希望すれば発行している。

それを持っている方に対しては、本当に公共交通利用が必要な方であるため、助成のプラスがあればと思う。

県内10市町村ほどで、コミュニティバスが1年間無料等を行っているところがあるため、今後検討をお願いしたい。

○事務局

自主返納の促進にもなり事故の減少にもつながると思われるため、今後検討していきたい。

○議長

他にあるか。

○委員

なし。

○議長

慎重審議をいただきまして、ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の会議を閉会させていただきます。

新しい巡回バスのルートに関して、絶対的な反対意見はなかったと思いますが、通勤通学者の配慮ということがありましたが、全体をみたときの費用対効果等を考え、今回ご提示させていただいた案で、決めさせていただいてよろしいか。

○委員

異議なし。

○議長

ありがとうございます。それでは順次進めさせていただきます。

また、今回変更して不都合が出てくれば、そこを直していく案が出てくる会議がこの公

共交通会議だと思っています。また、皆さんの知恵をお借りしてより良い方向にもっていければと思います。

ご協力ありがとうございました。

○事務局

ありがとうございました。皆様におかれましては長時間にわたりまして貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。以上をもちまして、交通会議を閉会させていただきます。

別紙 1

第 9 回 北茨城市地域公共交通会議 出席者名簿

要綱に掲げる委員	委員所属先	委員名	出・欠 代理出席者
市長が指名する市の職員	北茨城市	副市長 石田 奈緒子	出席
		市民福祉部長 神尾 武仁	出席
一般乗合旅客自動車運送事業者 (路線バス事業者)	日立電鉄交通サービス(株)	交通事業部 乗合課長 永沼 人士	出席
一般乗用旅客自動車運送事業者 (タクシー事業者)	茨城県ハイヤー・タクシー協会	(有)磯原観光タクシー 代表取締役社長 荒川 透	出席
一般貸切旅客自動車運送事業者 (貸切バス事業者)	(有)太陽タクシー	取締役 山形 公一	出席
一般旅客自動車運送事業者及び その組織する団体	茨城県バス協会	総務部長 柴田 文弘	欠席
住民又は利用者の代表	北茨城市社会福祉協議会	管理計画課 小野 明俊	出席
	北茨城市老人クラブ連合会	会長 伊藤 淳一	欠席
	日立製作所北茨城通勤会	事務局長 篠原 浩昭	OB 会 小口 昭夫
	北茨城市校長会	精華小学校長 豊田 健司	華川小学校長 竹内 克直
	北茨城市連合民生委員児童委員協議会	会長 鈴木 正義	出席
	茨城福祉移動サービス団体連絡会	NPO 法人ウィラブ北茨城 代表 高松 志津夫	出席
関東運輸局茨城運輸支局長又は その指名する者	関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官 久米 正夫	運輸企画専門官 牧瀬 成博
茨城県警高萩警察署長又はその 指名する者	高萩警察署	交通課長 阿部 靖雄	出席
一般旅客自動車運送事業者の 事業用自動車の運転者が組織する 団体が指名する者	日立電鉄バス労働組合	執行委員長 鈴木 広幸	欠席
道路管理者	茨城県土木部高萩工事事務所	道路整備第二課長 大森 満	欠席
その他交通会議が必要と認める者	茨城県企画部企画課交通対策室	室長 國松 永稔	欠席
	北茨城市商工会	上遠野 忠浩	出席

事務局 (北茨城市まちづくり協働課)	まちづくり協働課長	高星 秀穂
	まちづくり協働課 係長	鈴木 基彦
	まちづくり協働課 主事	磯辺 寛人